



南高
進路だより

律・啓・創
HOP! STEP! JUMP!

10月

平成29年10月10日
福島南高・進路指導部



10月の行事予定



- 2日(月) 衣替え 県下一斉服装指導
第5回服装頭髪指導
- 3日(火) 第2回防災避難訓練
- 5日(木) **学びの森Ⅰ(2年⑤⑥カット)**
大学入試センター試験願書発送
- 6日(金) 第2回実用英語検定(1次試験)
- 6日(金) **第2回ベネッセ駿台記述模試**
(~10/7)
- 9日(月) **第3回全統マーク模試(福大)**
- 11日(火) 創立記念日
- 12日(木) 遠足(1・3年)
学びの森Ⅱ(2年①③カット)
- 13日(金) 創立30周年記念式典準備・予行
- 14日(土) 創立30周年記念式典

- 16日(月) 振替休日
- 20日(金) 修学旅行事前健康診断
- 20日(金) **第3回全統記述模試(3年)(~10/21)**
- 22日(日) 全商会計実務検定
- 25日(水) 芸術鑑賞会(⑤⑥⑦の授業)
- 27日(金) **進研学力総合テスト(2年)(~10/28)**
進研模試(1年)
- 28日(土) 進研学力総合テスト(1年)
- 11/3(金) 第3回ベネッセ駿台マーク模試(~11/4)
- 11/7(火) 南高へ行こう
※PTA進路講演会

センター試験 1月13日まで …あと95日

秋から伸びる受験生はどこが違うのか 3年生へ

受験勉強もいよいよ後半戦に突入。志望校合格に向けての戦いはここからが本番である。9月にベネッセ駿台共催マークを受験し、結果が返ってきているところだと思う。夏休みの勉強の成果が表れているだろうか。又、「D判定」・「E判定」をもらい、正直焦っている諸君も少なからずいるものと思う。あんなに夏休みに必死になって勉強したのになぜと。焦ること自体は悪いことではないが、パニックを起こし、志望校をランクダウンしたら、それは余りにも早すぎる。「夏休みの勉強の成果が身に付き、目に見える結果として現れるのは、早くても2~3か月はかかる」と言われる。夏休みにインプットした知識が、きちんと答案としてアウトプットできるほど整理されていない。模試が集中するこれから10月~11月によりやく、応用力として発揮できるというのである。そのことを踏まえて、秋からどんなことに取り組んでいくべきかを整理してみた。参考にしてほしい。

- ① 合格最低点まで「あと何点？」が見えている。
 - ・偏差値や模試判定だけを追いかけてもダメ。志望校の合格最低点に目標を設定するべし。
- ② 学校だけに頼り切らず、やるべき勉強は自分で考える。
 - ・これからの時期は、自分の志望校や自分自身の現在の状況に合わせた戦略的な学習が必要になる。志望校の出題傾向を正しく理解し、これから伸びそうなところを学習するのも一つの方法である。自分で分析して、考えて計画を立てよ。
- ③ 苦手に固執せず、伸びる部分を優先し、得意に磨きをかける。
 - ・受験の合否は総合得点できまります。合格最低点を上回ればよいのである。受験に強いのは、得意教科・得意分野に磨きをかけ、その得点で勝負するタイプだ。
- ④ 模試の失点を細かく分析して受験対策に役立てる。
 - ・なぜ失点したのか、は大きく三つに分類できる。勉強不足でできなかったのか、勉強したのにミスをしたのか、勉強したのにわからなかったのか。三つ目が考えどころで、解説を読んでも理解できないなら、諦

めるのも1つの手である。入試で満点は必要ない。

⑤ 頑張りを支える生活習慣が確立している。

・早寝・早起き・朝ごはん。脳は1日の消費カロリーの20%を消費するといわれている。過度な食事制限やダイエットは絶対NG。毎日同じリズムで生活して体に覚えさせられることで、勉強に良いコンディションづくりを心掛けるべし。

⑥ 不安な気持ちを勉強の原動力に転化できる。

・不安と「合格したい」という欲望は表裏一体であり、受かりたいから勉強しようとポジティブな方向に持っていける人が、いわゆるメンタルが強い人なのだ。

兎に角、後悔しないよう勉強に励むべし。結果として、第一志望に合格できなかったとしても、こんなに頑張ったとする自信は必ず、大学入学後の学びにつながっていく筈だ。

2年生～入試を意識した学習をスタートさせよ

2年生の後半から一人ひとりの差が大きくなる。「やればできる」と思っている者よ、成績が伸びない者同士で傷をなめ合って、「入れる大学」を捜すのか？

勉強には特効薬はない。ひたすら、地道にやるしかない。当然、教室にいれば成績が上がるわけではない。予習して授業に臨まなければ、効果はない。復習して実力として定着させなければ、意味がない。生活のすべてを学習に費やす覚悟が必要である。2年生は「学年+2」時間、つまり4時間の自宅学習時間が求められる。高校での学びの内容を考えてみよ。2時間程度で消化できる内容か？

【受験勉強のスタート時期】

(単位：%)

回答	合格大学層			
	難関 国立大	国公立 ブロック大	地元 国公立大	難関除く 私立大
2年生の夏休み前	11.0	5.6	5.0	3.1
2年生の夏休み	13.0	10.7	9.1	7.3
2年生の冬休みまで	42.9	43.5	42.8	35.4
2年生の冬休み以降	32.4	39.8	42.9	53.4

「合格大学層」のデータは、2014年度入試における合格者の、スタディサポート2年生第2回の平均回答率。
(ベネッセより抜粋)

左の資料を見ると、「難関国立大」「国公立ブロック大」「地元国公立大」合格者の半数以上が2年生の冬休みまでにスタートすると回答している。修学旅行

という大きな行事を控えているが、国公立大学に合格しなかったならば、遅くとも修学旅行終了後から本格的に受験勉強を始めるようにしよう。

ところで、夏休みにオープンキャンパスに参加した生徒も多いと思うが、近年、10月の土曜・日曜にもオープンキャンパスを開催する大学が増加している。特に、模擬授業ではなく、実際の授業を聴講できるようになっているところも多い。一例をあげれば、東北学院大(10/14・15)、岩手大(10/21)、福島大(10/21)、宇都宮大(11/3)などである。進路指導室前の掲示板にポスターが貼ってあるので、参考にしてもらいたい。

1年生～これからどんな高校生活を過ごすかが問われています。

君たちに求める勉強時間は「学年+2」時間、つまり3時間だ。スマホの1時間を削れば、3時間の自宅学習は当たり前ができる。君たちが学習していることは基礎中の基礎である。「役に立つ」とか「役に立たない」とかのレベルで判断するならば、恐らく今学んでいるほとんどは実用に適さない。しかし、学ぶとはそんな所にあるのではない。「問う」ことの意義を学んでほしい。

9月15日(金)に福島大学を訪問してきた。そこで、どんなことを学び、今後の学校生活にどう生かしていくのが大切なのか。次に生徒諸君の感想を載せたいと思う。

○講義内容は、睡眠によって記憶力の向上が図れるというものだ。というのは、人は起きているときに学習したことを睡眠中に復習しているからだそうだ。大学の模擬授業を通して思ったことは、内容が難しく、頭に入らないということだ。知らない単語が多いから何を言っているか分からないのだと思う。

○教育行政として教育と行政がどのように関わっているかを知りました。身近な例をあげて説明していただいたため、とても考えやすかったし、講義の内容もこれからの自分の進路につながるような話だったので、これをきっかけに自分と向き合えたらいいなと思った。

○ 1929 年～の大不況を経て労働運動や市民運動が激増したため、市民のことをメディアで伝えようと、たくさんの映画を製作した。『怒りの葡萄』や『独裁者』などが生まれ、伝えたいことがはっきり表れていると思った。映画と社会の状態を絡めて説明して下さったおかげで、分かりやすかった。就職だけでなく、進学の間も考えようと思いました。

○ 映画は最初から労働者の文化だったということです。『独裁者』はヒトラーへの反感を兼ねたからかいとして使われていました。今はこういうことがないので驚きました。他にもディズニーのプリンセスの見た目や性格についても知りました。今はジャスミンやムーランなど積極的でアジア系のプリンセスも現れ、映画は人の考え方にも影響されているのだと知りました。

○ 価格競争では、競争相手がいるかいないかでその店の儲け、商品の価格、購入した人の満足度が違うということを知った。競争相手がいないと店としては儲けが出るが、社会全体では損ということが分かった。経済学が身の回りのどの点にあり、どんな影響を与えているのか、知りたくなった。

路講演会（11／7）のご案内

来る 11 月 7 日(火)に「南校へ行こう」の中で、毎年進路指導部主催で、保護者向けの進路講演会を開催してきました。今年は山形大学エンロールメント・マネジメント部教授、**門馬甲兒先生**をお招きし、「**2 つ先を見据えた合格へ**」という演題で、ご講演いただきます。先生は高校教諭の経験があり、高校現場を熟知した方で、県内各高校でも数多く講演実績のある先生なので、1・2年生の保護者の皆さん、是非ご参加下さい。15：10～16：10の時間帯です。